

平成22年第6回日野町議会定例会（2日目）

平成22年12月14日 午前10時 開議

一般質問通告表

通告順	氏名	質問事項
1	佐々木周子	<p>※副町長について 当分の間副町長を置かないと言う事で、平成20年9月10日条例改正されたが、随所に副町長の必要性が見受けられる。</p> <p>① 当分の間とはいつまでか。</p> <p>② 副町長についての考え方は今も変わっていないか。</p> <p>※健康福祉センターについて 町長は一般質問の答弁で、大きな夢を持っていると言われた。 それは、日野病院との連携で、ドクターに週一回健康福祉センターに来てもらい、将来を展望しながら、包括支援センターと一体となった意見交換の場をつくりたいということでした。</p> <p>① 夢に向かってどの様に努力されているか。</p> <p>② 実現の可能性はどうか。</p> <p>※町道根雨西側線について 日翔会が特別養護老人ホーム「あいご」建設の際に、町道改良のため、町の指示に従い土地を残したが、その後、進展がない。</p> <p>① 改良工事の測量、設計など、計画は出来ているのか。</p> <p>② 買収及び工事の予定はどうなっているか。</p>

2	松本利秋	<p>※機構改革について</p> <p>平成 20 年 3 月、副町長の退任以降(同年 9 月副町長を置かない条例を制定。)財政再建中ということで、副町長を置かず空席となっています。</p> <p>しかし、町長の進めておられる安心・安全で住みよいまちづくりに。また、職員の士気を高めるためにも、副町長が必要と考えます。</p> <p>また、平成 23 年度より、保・小・中の一貫教育推進にあたって、機構改革をされると思います。これは、本町にとって大機構改革であります。</p> <p>更に機構に関し、チーム制を導入するとの弁がありました。姿が見えません。</p> <p>① 町長のスローガンである安心・安全なまちづくりを推進するためには、副町長が必要です。副町長を置く考えがあるか伺います。</p> <p>②管理体制と職員士気の高揚をどのように進めて行かれるか伺います。</p> <p>③ 保・小・中の一貫教育推進にあたって、機構改革構想をどのように考えておられるか伺います。</p> <p>④ 教育委員会部局が大人数になった場合、課長等の設置が必要と考えますが、どのように管理体制をされるか伺います。</p> <p>⑤ 以前から、課長補佐を置かずチーム制を導入するとのことでしたが、具体化されていません。どのように推進されるか伺います。</p>
---	------	---

<p>2</p>	<p>松本利秋</p>	<p>※農業政策について      今年の水稲は、夏の猛暑の影響を受け品質が悪く、売り渡し価格も低調で農家の痛手は大です。      加えて、獣が出て農作物・田畑を荒らし、町内どこの地区でも悲鳴を上げておられます。今年、野山に実るものが希だったことも影響していると思いますが、来年に向けての抜本対策が必要だと思います。      また、国政の動きとして、突然降ってわいたような環太平洋連携協定(T P P)をめぐる動きが活発化しています。今のままで加入すると、農業は、壊滅的な打撃を受けると報道されています。特に水稲中心の本町に与える影響は計り知れないものがあると思います。</p> <p>①イノシシ捕獲補助金の増額や先進地事例があれば導入し、実施する考えを伺います。</p> <p>② 食の安心・安全の確保と本町の基幹産業である農業を守るためには、T P Pに加入すべきではないと考えますが、町長の考えを伺います。</p> <p>※高齢化対策について      今年は、5年に一度の国勢調査の年です。先ほど終了し、結果が待たれるところでありますが、町の住民基本台帳の数字をみても、本町は近年過疎と高齢化が急激に進展して来ています。      今後、老人対策が急務と考えます。</p> <p>①自治会やコミュニティ(地域社会)に参加できない、お年寄りが増加しており、困りごと相談や見守りなどの対策が必要と考えます。その推進をどのように考えておられるか伺います。</p> <p>②特に、独居老人対策として、孤独死が起きないように取り組みが必要です。その施策について伺います。</p> <p>③ 自治会・コミュニティ(地域社会)を元気にするためには、まず、支援及び指導者の育成が必要と考えます。新年度に向けて取り組みを伺います。</p>
----------	-------------	--

<p>3</p>	<p>小谷博徳</p>	<p>※若者定住について</p> <p>今から10年前。鳥取西部地震のとき、この町から一人として人口の流出をさせないと、手厚い保護施策として、日本で初の個人財産に補助金を出した。それが住宅支援であり、生活援護資金貸し付けであった。その結果一人として町を去る人はなくこの支援は非常に大きな効果をもたらしたと評価されている。</p> <p>一方この10年間に人口が約800人減少して3800人台迄落ち込んだ。この現状を非常に憂う。近未来 本町はどうなるのか。</p> <p>今こそ目先の取り組みと中長期的な方向性を持たないと町の将来的明るさを描くことは出来ない。</p> <p>町長の目玉である若者定住の具体的な施策を聞きたい。</p> <p>1) この10年間の人口減を町長としてどのように分析しているか。そして将来予測はどのような状況となるのか。</p> <p>2) 若者定住が町長2期目の重要な施策である。この重要課題にどのように取り組んでいるのか。 取り組みの実績と評価。</p> <p>3) Iターン・Uターンによる若者定住について、</p> <p>① 町長はどのような考えをもっているのか。</p> <p>② どういう誘致運動を行っているのか。</p> <p>③ 何が障害か。</p>
----------	-------------	--

<p>4</p>	<p>中原 明</p>	<p>※町づくり座談会について  町民の知る権利を保障し、それに基づいて町が保有する情報を公開することにより説明責任を果し、開かれた町政を実現して、相互の信頼関係を深めることが円滑なる行政の推進に必要不可欠かと思われる。</p> <p>① 今回、根雨、黒坂会場の座談会で参加町民が何名でしたか。  ② 質問者は何名でしたか。  ③ 説明内容は、よく理解されたと思われましたか。  ④ 説明用語が役所専用であり、一般町民には理解が難しいのではないか。  ⑤ スライドを利用して、用語の数値の説明など工夫が必要ではないか。  ⑥ 平成17年10月には、山村開発センター2回、老人憩いの家、町公民館、菅福公会堂、町青年の家、上本郷公会堂で参加者525人となっているが、最低この程度の開催は必要ではないか。</p> <p>※ 事務事業評価の実施について  予算のムダを洗い出す「事業仕分け」が国では、前日第三弾の仕分けを終了したが、県においても昨年に続いて第二弾と外部有識者や公募で施策の是非を判定。来年度予算編成の参考に北栄町では、今回3回目を実施、8事業について事業仕分けを実施された。  本町においても事務事業の見直し評価について、取り組む考えはありませんか。</p> <p>① 単年度黒字に移行し、実質公債費比率が27%になり、財政が好転したとの認識が行政にも町民にも見られる。早期健全化基準25%には、23年度以降であり、健全化基準18%には見通しが立たない状況であり、全国ワースト6位であることは忘れてはならない。  この状況をどう認識しておられるか。  ②事務事業評価制度の目的として、  ア、成果重視の行政運営システムへの変革。  イ、限られた財源の有効活用。  ウ、町民への説明責任の質的向上。  エ、職員の意識改革と言われるがどう考えられますか。  ③行政マネジメントサイクル、すなわち計画→実施→評価→改善の行政運営システムをより機能させるとともに、具体的な改善を図るシステムについて推進される方策はいかがですか。  ④それぞれの仕事の目的、目標の明確化と達成状況の評価と改善、行政評価システムの導入をする考えはないか。</p>
----------	-------------	---

5	竹永明文	<p>※地域活性化対策について 少子高齢化が進む中、若者が夢を持って住める町づくり、お年寄りが安心して暮らせる地域づくりとは、どのようなものか一向に町民に見えてこない。</p> <p>① 町長が提唱されている「きらり」とひかる町づくりとは。</p> <p>② 金持神社、おしどり観光を利用した地域活性化に、町がどのようにかかわっていくのか。</p> <p>※若者定住対策について 議会答弁の中で若者たちが住みよい町づくりが大切であり、本町の職場で勤めている方に定住していただいて、そこから対策を考えてみたいと思っています。と答えておられます。</p> <p>① 町営住宅の払い下げについて。</p> <p>②町職員の採用方法について、検討すべきでないか。</p>
---	------	---

<p>6</p>	<p>佐々木求</p>	<p>※T P P(環太平洋経済連携協定)について  政府は、参加するための協議に参加の決定を行った。県のその際の影響の試算も報道されている。</p> <p>①日野町の基幹産業の農業・林業は、どうなると考えておられるか。</p> <p>② 決して許されないと考えるが、町長の考えはどうか。</p> <p>③国の問題とせず、あらゆる手段、機会に町の存亡をかけた訴えや行動が考えられなければいけないと考えるが、どう考えているか。</p> <p>※西部可燃ゴミ処理について  西部広域行政管理組合は、既に地元説明会を開いている。</p> <p>①西部広域行政管理組合の正副管理者会議でどのような議論がなされ、町長はどのような態度をとったのか、経緯と議論の中身について伺う。</p> <p>②本町の場合は、議会への説明も行われていない段階で、報道によって突然知ることになったが、今後、その説明責任はどのように果されていく考えか。</p> <p>※子宮頸がんの公費助成について  前回の質問の際の答弁以後、国・県の動きは大きく変わった。政府も「自己負担のないように」と言って予算を計上した。「母性の保護」と予防への今後の取り組みについて伺う。</p> <p>① 町長のこれまでの取り組みの経緯は、どうであったか伺いたい。</p> <p>② 町の支援は、どう考えているか。</p> <p>③ 今後の取り組みについては、どう考えているか。</p>
----------	-------------	--

7	松原直人	<p>※まちづくりの取り組みについて</p> <p>1. 元気なまちづくり交付金について、元気な地域づくり活動を支援するとあるが、自治会・老人会等においては、年初、年度初めに事業計画を作り会費を御願いし予算を立て運営しています。</p> <p>①自治会等が来年度の事業計画を作成する際、町は交付金が見えるよう指導する考えはないか。</p> <p>2. 集落、街が高齢化等により、元気がなくなっている、町職員が集落のみなさんと交流し実態、悩みなど肌で感じる必要があると思います。根雨6区自治会の戸数も  平成 2年度は・・・111戸  平成12年度は・・・93戸  平成22年度は・・・75戸  町の高齢化は急激に進み、元気な自治会と取り残される自治会が出来ます。区長の相談相手も必要です。</p> <p>①町職員の地域担当制を考えるべきではないか。</p> <p>※納税組合について</p> <p>本当に納税組合が必要かうかがいます。  納税は国民、町民の義務です滞納は強制執行され、本町の多額な滞納である貸付金とは違います。  廃止された町もあります。  平成20年度納税報奨金  総額 3,351千円  平成21年度納税報奨金  総額 3,048千円</p> <p>①納税報奨金が有効に使われていると思いますか。  ②この金額を各自治会へ配分し有効に使ったらよいのではないか。</p>
---	------	--